



# 酒匂の清流

令和3年5月17日(月)発行

校長 津田 将美

## 笑顔生産工場

「やっぱり、元気に活動する子どもたちの表情は、生き生きとしていいですね。」  
昨年度より、河川敷での長昼休みの活動を見守ってくださっている学校評議員さんが、笑顔で話しかけてくれました。

「本当ですね。子どもたちにとっては大切な時間ですね。」  
そんなことを共感できるのも、清流のほとりでの活動の良さです。

今年度も、河川敷での活動がスタートしました。昨年度に引き続きマスクをしながら、職員も元気に子どもたちに交じって遊んでいます。中には、子どもたちより汗びっしょりになって戻ってくる職員もいて、ほほえましくも頼もしく感じます。このような活動を、今年度も前向きに続けていけそうな雰囲気年度当初からあることが、ありがたいと思います。

前向きな活動は、人と人との笑顔で結びます。心にも体にもたっぷりと栄養を蓄えてくれます。そして、心身ともに生きる力、たくましさをつけてくれます。

感染症対策に万全を期すことは大前提ですが、学校生活の中では、このような前向きな心をつなぐ活動も大切にしていけることが新型コロナウイルスに負けないために必要なことだと感じています。そして、子どもたちの笑顔が、私たち職員の心身の力に、そして前に進んでいく原動力にもなっているのです。

「1, 2, 3, 4, 5, …」

いつも通り校内を回っていると、体育館から元気な声が響いてきました。覗いてみると、ひまわり学級が体育で縄跳びをやっているところでした。今跳んでいる子にみんなが注目して、一生懸命掛け声で応援しています。

「…17、18、19、にじゅううう！！！！」

「やったあ〜！」

「すご〜い！！」

一人ひとりに対して、このような応援をし、心からの歓声がわくとっても素敵な空間でした。子どもたちも先生たちも一緒になって仲間のがんばりを認め、喜び合う経験は、きっと学校生活を豊かで前向きなものにしてくれることでしょう。



ひと昔と言っていいくらい以前に、勤務していた学校の校長先生から、「学校は子どもの『笑顔生産工場』だよ」と言われたことがあります。まだ若かった私は、「なるほど、うまいことを言うなあ」と変にその言葉に感心したものでしたが、コロナ禍の中でも前向きに活動をしている子どもたちや職員を見ると、その言葉の真の意味が心にしみてきます。

松田小学校も、笑顔生産工場を目指していきます。



# 木の学校

4月27日に、建築中の新校舎の視察を行いました。立派な木の梁が、どんと立ち並んだ教室棟は床もはり始めてあり、2階部分まで行くことができました。

体育館は鉄筋コンクリートで重厚な雰囲気でしたが、木の教室棟はぬくもりがあり、廊下の広いゆったりとした造りになっていました。グラウンドがないことで子どもたちや職員には不便をかけていますが、こんな校舎を観てもらうことができれば、大きな希望も湧いてくるのかな、と思いました。



下の完成予想図のように、児童昇降口の壁面には、子どもたちが制作した木のオブジェが飾られる予定です。9月に入ったら、町有林材を使った木切を板に貼り、手作りのオブジェの制作を行います。またその頃には、子どもたちの新校舎見学もできるようになるそうです。

不便な生活の中でも、少しでも前に希望をもって進んで行けるように、子どもたちやご家庭にも、情報を提供し続けていきたいと思えます。2月の新校舎完成の折には、保護者の皆様にもいろいろとお願いをすることがあるかと思えますが、よろしくお願いいたします。



## 水泳学習中止のお知らせ

昨年度に引き続き、今年度も水泳の学習は行わないこととなりました。

水の中での学習を進めていく上で必要な様々な要因から、マスクをつけずに行う水泳学習については、学校教育の中での実施は難しいという判断に至りました。

子どもたちの安心・安全のために、ご理解、ご協力をいただければと思います。

5月の半ばを過ぎると、気温も上昇し、熱中症への配慮からマスクを外す必要も出てきます。体育学習や外での活動等は、そのことも十分に留意しながら進めていきたいと思えます。

今後とも、感染症対策について「慣れることなく」進めて参ります。ご家庭での感染症対策も、引き続き丁寧に進めていただければと思います。よろしくお願いいたします。

## 地域の方からのお手紙



松田小学校 校長先生へ

前略、私は、もうすぐ90歳になります。先日、松田小学校の男の子から、「こんにちは。お元気ですか。」と、声をかけてもらいました。とてもうれしかったです。これは、先生方のご指導のたまものと思えます。思いやり、いたわりの心を育てる事は、大切です。

みんなに、男の子のことを話してください。よろしくお願いいたします。 ~松田町在住~

人と人の心をつなぐものが、あいさつです。松田小学校でも大切にしているもののひとつですが、実際に地域の方からこのようなお手紙をいただけることは、本当に嬉しいことでした。

## 自分のできることに向き合う

東京オリンピック競泳代表の池江璃花子選手のSNSが、ニュース等で報道され話題になっています。東京五輪を辞退するように求める書き込みに対して、以下のようなコメントを出していることに、アスリートとしての苦悩や誠実さ、そして強さがにじみ出ていると感じました。

「私も、他の選手もきっとオリンピックがあってもなくても、決まったことを受け入れ、やるならもちろん全力で、ないなら次に向けて、頑張るだけだと思っています。」

「私に反対の声を求めても、私は何も変えるこ

とができません。ただ今やるべきことを全うして、応援していただいている方たちの期待に応えたい一心で、日々の練習をしています。」 ~「」内 池江璃花子選手SNSより引用~

コロナ禍は、日常の様々な場面で私たちの生活に不安な影を落としています。しかし、その中で大切なことは、感染症対策も含め、自分が今ある環境の中で、できることを精一杯やっていくことなのだと思います。それは、私たち一般の人間もアスリートも同じなのだということを、池江選手の言葉から感じ、勇気づけられました。